

経営比較分析表（平成28年度決算）

長崎県平戸市 国民健康保険平戸市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	D透訓ガ	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
32,639	7,703	第1種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

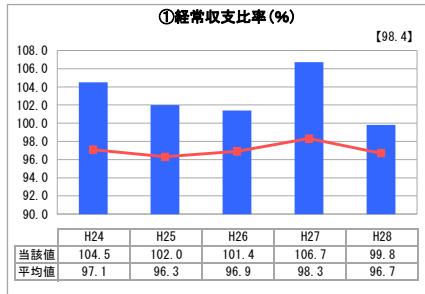
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
58	42	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	100
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
58	42	100

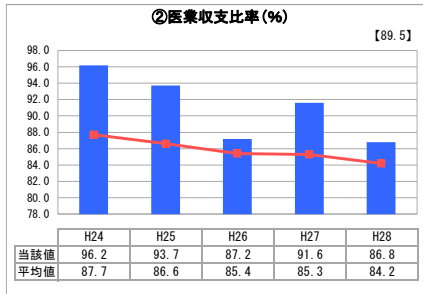
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

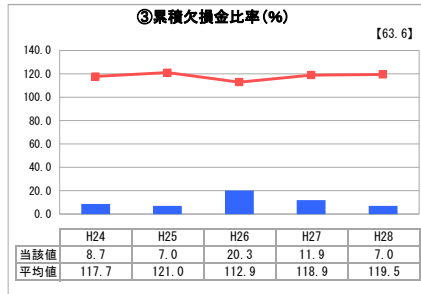
1. 経営の健全性・効率性



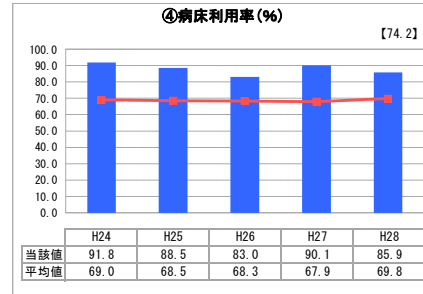
「経常損益」



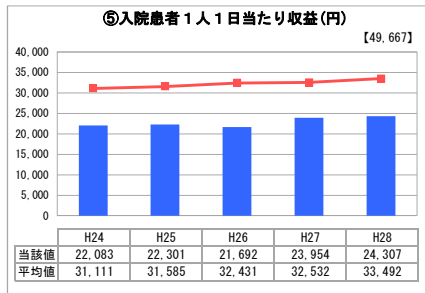
「医業損益」



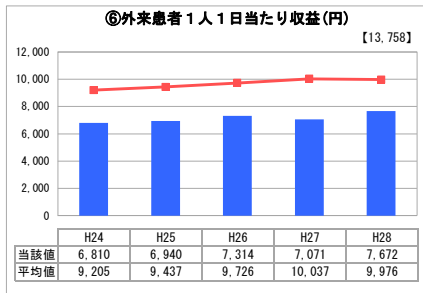
「累積欠損」



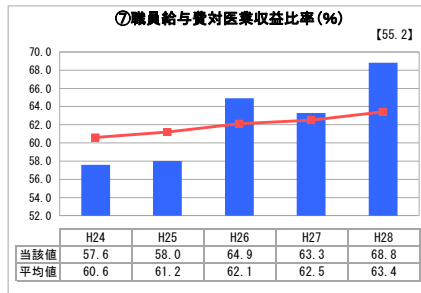
「施設の効率性」



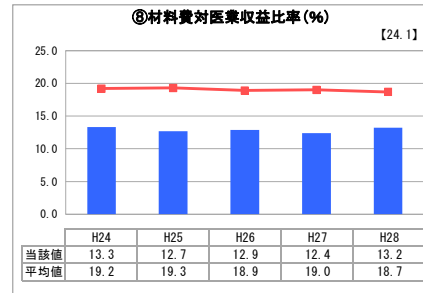
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

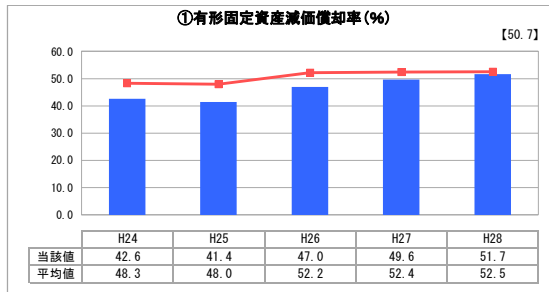


「費用の効率性①」

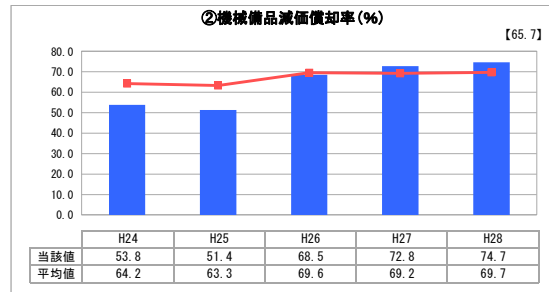


「費用の効率性②」

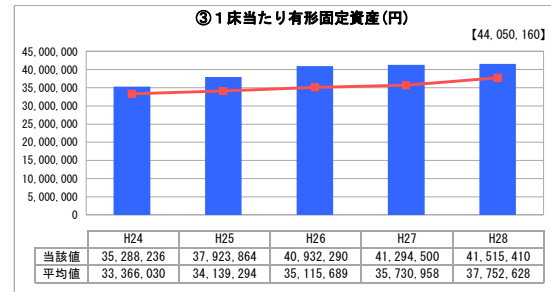
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

国民健康保険平戸市民病院は、平成8年に2つの市立病院（国保紐差病院、市立南部病院）を合併してきた。平戸島中南部地区唯一の医療機関である。救急医療や高度医療の提供を行うほか、へき地病院再生支援・教育機構と連携して、研修医の受入を行っている。また、訪問看護ステーション、健診部門、通所リハビリテーションを併設し、病院と機能的に医療・介護・福祉の連携を図ることで、市民により質の高い包括的医療サービスの提供を行っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%を上回っているが、② 医業収支比率は100%を下回っていることから、他会計からの繰入金に依存しているということが言える。

④ 病床利用率が高い水準の割に⑤ 入院患者1人1日当たりの収益が平均よりも下回っているのは、主に近年の医師不足に要因があり現状の医療スタッフでは診療報酬を増やすことができないということが考えられる。

⑦ 職員給与費対医業収益比率については、年々増加がみられ、医業収支を圧迫していることがうかがえる。収益が悪化し、③ 累積欠損比率の増加に繋がらないためにも、新改革プランに基づいて経営改善を図っていく。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率については、年々増加し平均に近づきつつある。また、② 機械備品減価償却率については、平均を上回るほど増加がみられる。つまり、施設や医療機器において老朽化が進行していることは明らかであり、新改革プランに基づいて大規模改修を進めていく必要がある。

全体総括

経常収支は平成27年度に改善がみられたものの、医師の高齢化とともに医師数の減少が続いており、経営状況に大きく影響している。医師の確保ができれば、入院・外来ともに患者数の増加が見込め経営の安定化につながる。その他、新改革プランに掲げてあるようにさまざまな経営改善策を講じて、経営の健全化を図っていく。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。